

【書く・なぞる】俳句 種田山頭火 二

手を合わせて 木の実を拾う

捨てきれない 荷物をせおって いる

ぬれて一人 山をもどれば 母がいる

おちついて 死ねそうな 草萌ゆる

しぐるるや しんじつ母を 恋ふるごとく